



「オートファジー」
について学ぼう!

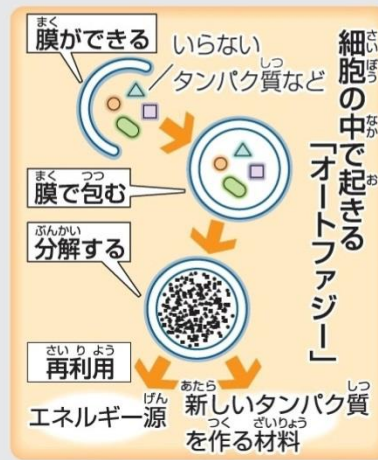
コフバ博士とミルメちゃんの
知っかなく茶

動物や植物は、顕微鏡で見ないと分からないほどの小さな細胞でできているよ。人間は約60兆個の細胞からできていて、細胞はいつも生まれ変わっているんだ。

大隅さんがノーベル医学生理学賞に決まったのは、細胞の「オートファジー」という働きを解明したから。細胞の中に膜ができ、いろいろなタンパク質などを包みこみ、ばらばらに分解して取りのぞく仕組みだよ。

分解されたタンパク質は、新しいタンパク質を作るために再利用されるほか、エネルギー源にもなるので、細胞は栄養が少なくなるときでもたえられるよ。オートファジーは細胞が生きる上で、欠かせない仕組みなんだ。

1950～60年代に大まかな考えがしめされたけれど、くわしいことは謎だったんだ。大隅さんはこの謎をとく研究でノーベル賞に決まったよ。



①人間の細胞は、何個でできているのでしょうか。

[]

2016年10月16日
朝刊 YOMOっと静岡

②「オートファジー」とは何のことか分かるところに線を引きましょう。

③「これができたらノーベル賞だ!」と思われることを書きましょう。

[]

年 組 名前